

平成 30 年（2018）の干支・御題菓子販売のお知らせ

株式会社虎屋（代表取締役社長：黒川光博、所在地：東京都港区赤坂 4-9-22）は、平成 30 年（2018）の干支「戌^{いぬ}」と歌会始のお題「語^{ことば}」にちなんだ新商品を期間限定で販売いたします。お世話になった方への御歳暮や年始のご挨拶など、一年の想いを込めた贈り物にいかがでしょうか。

<平成30年（2018）は戌年>



干支羊羹^{はるいぬ}『春戌』

干支「戌」にちなんでおつくりしました。草木が芽吹き始めた春の庭と犬の横顔を表した羊羹です。

【販売期間】2017 年 11 月下旬～2018 年 1 月下旬（予定）

【販売店舗】全店

【価 格】中形 1,944 円（本体価格 1,800 円）
竹皮包 3,888 円（本体価格 3,600 円）



干支パッケージ 小形羊羹

『夜の梅』（小倉羊羹）、『おもかげ』（黒砂糖入羊羹）、『新緑』（抹茶入羊羹）の 3 種類を、干支「戌」のパッケージでご用意しました。

【販売期間】2017 年 11 月下旬～2018 年 1 月上旬（予定）

【販売店舗】全店

【価 格】各 1 本 260 円（本体価格 240 円）
5 本入 1,404 円（本体価格 1,300 円）



『まる犬』羊羹製 白餡入^{いぬ}

『まる犬』は、犬がそばにやってきてころんと丸まるさまを、白と茶色の茶巾絞りで表現したお菓子です。絞り目が、犬の毛並みを思わせます。

【販売期間】2017 年 12 月 16 日～2018 年 1 月 15 日

【販売店舗】東京・京都地区の生菓子取扱店

【価 格】1 個 486 円（本体価格 450 円）



『春の路』湿粉製^{はる みち}

『春の路』は、黄・緑・黒の三色で、犬と歩くいつもの散歩道が春めいてきた様子を表しました。黄・緑は湿粉製、黒は黒砂糖入の羊羹製でおつくりしています。

【販売期間】2017 年 12 月 16 日～2018 年 1 月 15 日

【販売店舗】生菓子取扱店

【価 格】1 個 454 円（本体価格 420 円）

<平成 30 年（2018） 歌会始のお題は「語」>



御題羊羹 『吉事の雪』

2018 年歌会始のお題「語」にちなみ、おつくりしました。『万葉集』最終歌「新^{あらた}しき年の始の初春の今日降る雪のいやしけ吉事」より想を得ました。古の人々が、吉兆である新年の雪を見て喜び語り合う様子を思わせます。

【販売期間】 2017 年 11 月下旬～2018 年 1 月中旬（予定）

【販売店舗】 全店

【価 格】 中形 1,944 円（本体価格 1,800 円）
竹皮包 3,888 円（本体価格 3,600 円）



『幼語り』 薯蕷製 小倉餡入

古くは正月の遊びでもあった手鞠を、薄紅色の薯蕷饅頭に紅・黄・緑の三色の線を描いて表しました。可愛い色合いと幾何学的模様は、幼き頃の思い出を語りかけてくれるかのようです。

【販売期間】 2017 年 12 月 16 日～2018 年 1 月 15 日

【販売店舗】 東京・京都地区の生菓子取扱店

【価 格】 1 個 486 円（本体価格 450 円）

※各商品は販売時期が多少前後する場合がございます。

歌会始について

人々が共通の題で歌を詠み、その歌を披講する「歌会」。その中でも、天皇によって開催されるものを「歌御会」といい、年の始めに開かれるものは「歌御会始」と呼ばれていました。大正 15 年（1926）以降は「歌会始」と改められ、今に至ります。平成 30 年（2018）の歌会始のお題は「語（ご）」です。

御題菓子とは？

その年の歌会始の「お題」にちなみ、考案されたお菓子。明治 7 年（1874）、それまでは皇族・側近などで行われていた歌会始に、国民の参加も認められるようになりました。こうして歌会始が身近なものになってきたことも背景に、明治 21 年（1888）、京都の上菓子屋の有志が集まり、「お題」にちなむお菓子の展示を開催。これをきっかけに歌会始にちなんだお菓子をつくる店が増えていきました。当店では明治 40 年（1907）に記録があります。

<取材に関する問い合わせ先>

株式会社 虎屋 経営企画室広報課 早瀬寛太 住所：東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階
電話：03-3408-4128 FAX：03-3408-6274 E-mail：kouhou@toraya-group.co.jp HP：www.toraya-group.co.jp